

研究参加者を募集します

加熱式タバコ喫煙（受動喫煙含む）による母乳中 コチニン量ならびに母乳成分の影響に関する検討について

研究責任者：昭和大学病院 小児科助教 立野茉咲子
共同研究者：昭和大学病院 小児科教授 水野克己

検査実施機関：兼松ウェルネス株式会社
一般財団法人日本財団母乳バンク



はじめに

タバコの煙にはニコチンなどの有害物質が多く含まれています。
母親が喫煙しながら母乳で育てた場合、子供は嘔吐、下痢、脈拍増加、落ち着きのなさなどを示すことが報告されています。
また、母親自身は喫煙しなくても、受動喫煙によってニコチンの影響を受けると言われています。
近年、健康のことも考えて加熱式タバコに変更する方も増えています。
赤ちゃんに対する影響も加熱式タバコは紙タバコと比べて有害性が低く、
また、副流煙の周囲への影響も少ないと思われがちですが、本当にそうなのかはわかりません。
そこで本研究により母親や同居者の方が加熱式タバコを吸う場合、母親自身に影響はないのか、
母乳は安全といえるのかを検討することになりました。



参加方法

研究にご興味がある方は下記の連絡先までメールをお願い致します。
研究説明書、同意書、チェックリスト、唾液中・母乳中コチニン濃度（ニコチンの代謝産物）
測定用容器と搾母乳保存容器をレターパックにてご自宅に郵送します。
唾液ならびに母乳が採取できましたら、同封しているレターパックにて昭和大学まで郵送していただきます。

謝礼

QUOカード1000円になります。



連絡先

研究に興味のある方、質問のある方は下記メールアドレスまで
ご連絡をお願い致します。
右のQRコードを読み取っていただくとメールアドレスにリンクしております。

研究事務局 昭和大学小児科 水野克己
メールアドレス：katsuorobi@med.showa-u.ac.jp

